

課題名：筋層非浸潤性膀胱がんの最適な管理方法の開発に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月～2017年3月に東北大学病院および協力病院（後述）で経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）を受けられた方

2. 研究期間

2018年11月～2022年3月

3. 研究目的

膀胱がんは手術（経尿道的膀胱腫瘍切除術）後の高い再発率（5年で50-60%）が問題となっています。今回の研究では①どのような患者さんが術後の再発、進展をきたしているか、②どのような患者さんが術後の補助療法（膀胱内への抗がん剤、BCG投与）をうけ、どのような副作用が発生しているかの調査を行います。このことにより、再発および進展のリスクが高い患者さんの特徴を抽出し、より治療法の提案が可能となる可能性があります。

4. 研究方法

経尿道的膀胱腫瘍切除術をうけて、定期的に外来通院され検査（膀胱鏡や尿細胞診など）を受けられた患者さんを後ろ向きに検討し、再発および進展と関連する因子の解析を行います。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、イニシャル、病理の情報
カルテ番号 等

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

東北大学病院 泌尿器科 佐藤琢磨
JCHO 仙台病院 泌尿器科 庵谷尚正
東北労災病院 泌尿器科 浪間孝重
宮城県立がんセンター 泌尿器科 荒井陽一
JA 福島厚生連白河厚生総合病院 泌尿器科 喜屋武淳
国立病院機構仙台医療センター 泌尿器科 齋藤英郎
いわき市立総合磐城共立病院 泌尿器科 徳山聡
八戸市立病院 泌尿器科 相馬文彦
仙台市立病院 泌尿器科 石戸谷滋人
仙台赤十字病院 泌尿器科 太田章三
JA 秋田厚生連雄勝中央病院 泌尿器科 加藤慎之介
山形県立中央病院 泌尿器科 沼畑健司

大崎市民病院 泌尿器科 池田義弘
気仙沼市立病院 泌尿器科 折笠一彦
石巻赤十字病院 泌尿器科 石井智彦
東北公済病院 泌尿器科 山田成幸
岩手県立磐井病院 泌尿器科 竹田篤史

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さ
い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さ
んの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記
の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは
ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
東北労災病院 泌尿器科 浪間 孝重
〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-21
TEL 022-275-1111